



# あおき

令和5年 5月 2日  
校長 國友 謙

## 学習参観、PTA総会、学級懇談会

21日(金)の学習参観等へのご出席、ありがとうございました。

平日でお忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご出席いただきました。

特に1年生は、初めての学習参観ということで、たくさんの保護者のみなさまにご参加いただき、子どもたちもうれしそうでした。



1年生の学習参観の様子

これからも学校行事へのご参加、どうぞよろしくお願いいたします。

## 全校朝会でのお話

5月1日(月)に全校朝会を行いました。4月当初は、オンラインでの朝会を考えていましたが、新型コロナウイルス感染症も減少しつつあるので、子どもたちに集団の中でも静かに話を聞く態度を身につけてほしいと考え、体育館に集まったの全校朝会にしました。

全校朝会での校長先生のお話は、次の内容でした。

この令和5年度にがんばってほしいことは、始業式でお話をしたように「自ら感じ、考え、行動し、希望を持つ」ということです。

特に1学期にがんばってほしいことは、その中の「自ら感じる」ということです。

「感じる」とはどういうことでしょうか。「感じる」とは「心が動く」ことです。

例えば、ある日、教室で男の子達がけんかをしていました。別のところでは男の子と女の子がけんかをしていました。こんな時に心が動きませんか。動かない人は動くようになってほしいと思います。「なぜかな?」とか、「やめてほしい。」と、感じてほしいと思います。

また、友だちがいやなことをされたり、仲間外しにされたりしているのを見て、「いじめかな?」「まちがっている!」と、心が動くようになってほしいと思います。

学習も同じです。ある子どもが3+1を5と答えたそうです。しかし、それを見た算数の博士は、それに丸を付けたそうです。「なぜかな?」と思いませんか(理由は、答えた子が3歳の子で、正答の4とそう離れていないから)。そういったお勉強のことにも心が動くようになってほしいと思います。

自然をしっかりと見つめて「きれい!」と心が動くことも大切です。

では、「自ら感じる」ためには、どうしたらよいでしょうか。

「自ら感じる」ためには、見たこと、感じたことを見逃さないことが大切です。「なぜ?」「だめだよ!」「すごい!」などと感じるもの、感じたことを見逃さないようにすることです。

1学期はぜひ、「自ら感じる」ことを大切にしてお過ごししてほしいと思います。

これで校長先生のお話を終わります。

少し難しいかなと思いましたが、子どもたちは静かに聞いてくれました。

